



佐賀県 上峰町 小学校における オンライン英会話授業 4ヵ年実績報告会



Envizion, Inc.

上峰町について

みんなで作る元気創造拠点・上峰



人口約9,700人の自然豊かな町

面積は、12.8平方キロ、
南北12.5km東西最狭1kmの帯状の町です。



町には小・中学校が1校ずつ

上峰小学校
児童数634名、27学級（普通20＋特別7）
※2019年5月1日現在

上峰町の取り組み背景

2015年 地方創生先行型交付金事業交付対象団体に認定
町づくり戦略の一助として、「**教育**」に力を入れる



教育拠点づくりにおける 2つの方針

国際感覚育成のための
教育拠点づくり

就農者の若年層の育成による
持続可能な生産体制の構築

「**先進的でグローバルなまち**」として、
「**若い世代の定住・移住の促進**」を期待

教育を取り巻く状況

学習指導要領の改訂により 2020年度から小学校における英語授業が拡大



英語の開始年次を**小3に押し下げ**（小3・小4が週1：35時間/年）
小学校5年生から「**教科**」になります
授業数が2倍に（小5・小6が週2：70時間/年）

教育を取り巻く状況

国における指針として、
「少人数での英語指導」「ネイティブスピーカーの配置拡大」が
示される

③初等中等教育段階からグローバル化に対応した教育を充実する。

国は、小学校の英語学習の抜本的拡充（実施学年の早期化、指導時間増、教科化、専任教員配置等）や中学校における英語による英語授業の実施、初等中等教育を通じた系統的な英語教育について、学習指導要領の改訂も視野に入れ、諸外国の英語教育の事例も参考にしながら検討する。国、地方公共団体は、**少人数での英語指導体制の整備**、JET プログラムの拡充等による**ネイティブ・スピーカーの配置拡大**、イングリッシュキャンプなどの英語に触れる機会の充実を図る。

官邸 教育再生実行会議『これからの大学教育等の在り方について（第三次提言）』より
平成25年5月28日

国の動きをふまえ、
上峰町として「2020年の5年先取りをする」

上峰町における教育の方針(2015年に策定)

ICTを活用し、語学をはじめとした国際理解教育を推進していく

基礎学力の向上、社会への適応能力、自己の可能性の実現など様々な能力の育成と共に
語学力の一貫した教育

海外に進出していく企業の求める人材としての必要性の高まりからも、
語学力が必要

ALTに加えて、ICTを活用した
国際理解教育を推進し、
様々な分野で活躍する人材の育成

当時のグローバル化教育の施策と課題

外国人とのコミュニケーションを増やす必要性

当時の施策

- ・ ALTによる英語授業の実施
- ・ 海外との姉妹都市提携や
青少年を中心としたホームステイを実施

一人当たりの外国人との
コミュニケーション量は限られてしまう

国における方針

- ・ 少人数での英語指導体制の整備
- ・ ネイティブスピーカーの配置拡大

児童それぞれが外国人との
コミュニケーション量を
増やす事が求められていた

- 
- ① 語学量に欠かせない会話量を増やすこと
 - ② 外国人に対しての壁を低くすること

これらを満たす学習手段が必要

ICT教育推進に向けた町の取り組み

町としての通信インフラの基盤強化や、
中学校における導入結果を受け、ICT教育の活用を推進

NTT西日本 佐賀支店と
情報化包括協定を締結

上峰中学校にて
英語・数学の
オンライン
個別補充学習の実施

オンライン英会話の導入を決定

2015年 オンライン英会話事業者のレアジョブと業務提携契約締結



初年度は小学校6年生の英語の授業で導入

英語授業の取り組み概要

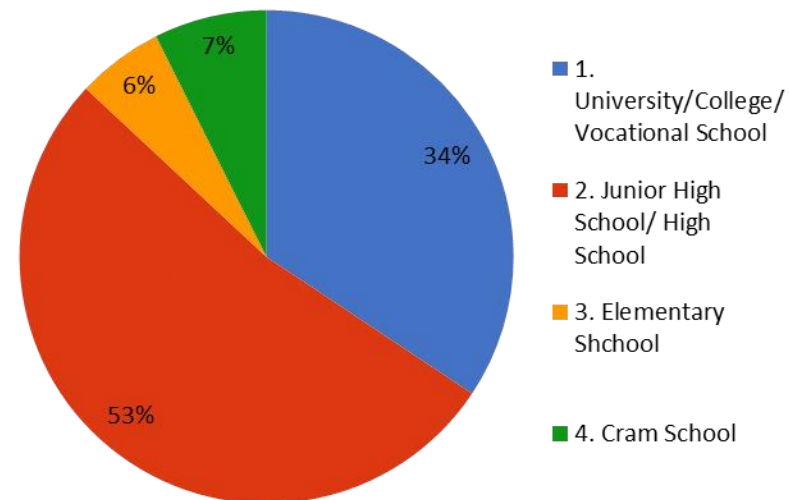
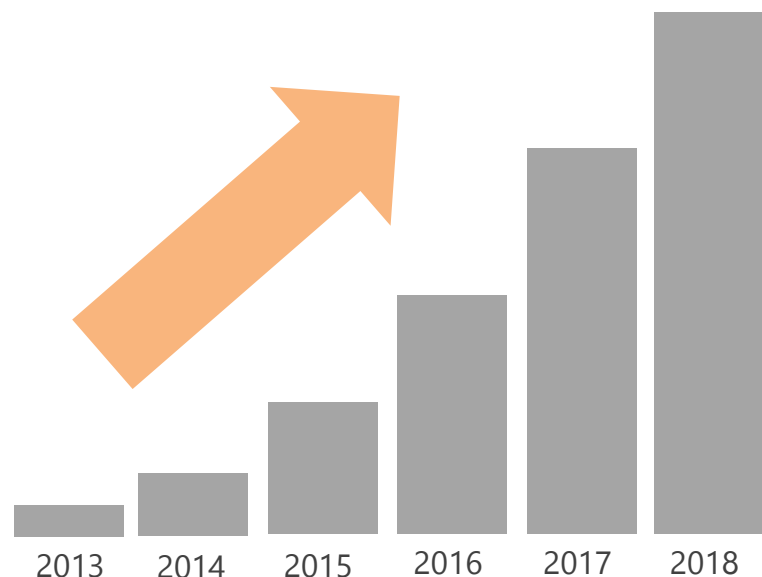
オンライン英会話について

インターネット回線を利用して、海外にいる英語講師とオンライン環境で繋ぎ、安価で良質な英会話レッスンを受ける事を可能にしたサービスです。



全国の教育機関にてエンビジョンのオンライン英会話導入が広まる

全国 **230**校以上 の教育機関で導入



< 小学校 >

上峰町（佐賀）/ 長井市（山形）/ 夕張市（北海道）ほか

< 中学校・高等学校 >

三田国際学園中学校・高等学校（東京）/ 旭川明成高等学校（北海道）/ 静岡城北高等学校（静岡）ほか
名古屋経済大学市邨高等学校（愛知）/
相愛中学校・高等学校（大阪）ほか

< 大学・専門学校 >

東京大学大学院（東京）/ 相模女子大学（神奈川）/
摂南大学（大阪）/ 長崎純心大学（長崎）/
経専北海道専門学校（北海道）/
明治大学（東京）/ 安田女子大学（広島）ほか

オンライン英会話授業実施概要について

• 対象

- 2019年度上峰小学校の児童（3クラス×2学年）
 - 5年生：98名
 - 6年生：116名
- 基本的には英会話初級者

• 受講内容

- 45分授業の中でWeb会議ツールを活用したレッスンを導入。
- 形式：フィリピン人講師とのマンツーマン形式。
- レッスン時間：15分
- 学校の英語の外国語活動の時間に実施。※ALTの授業とは別の時間で実施

• レッスン提供期間

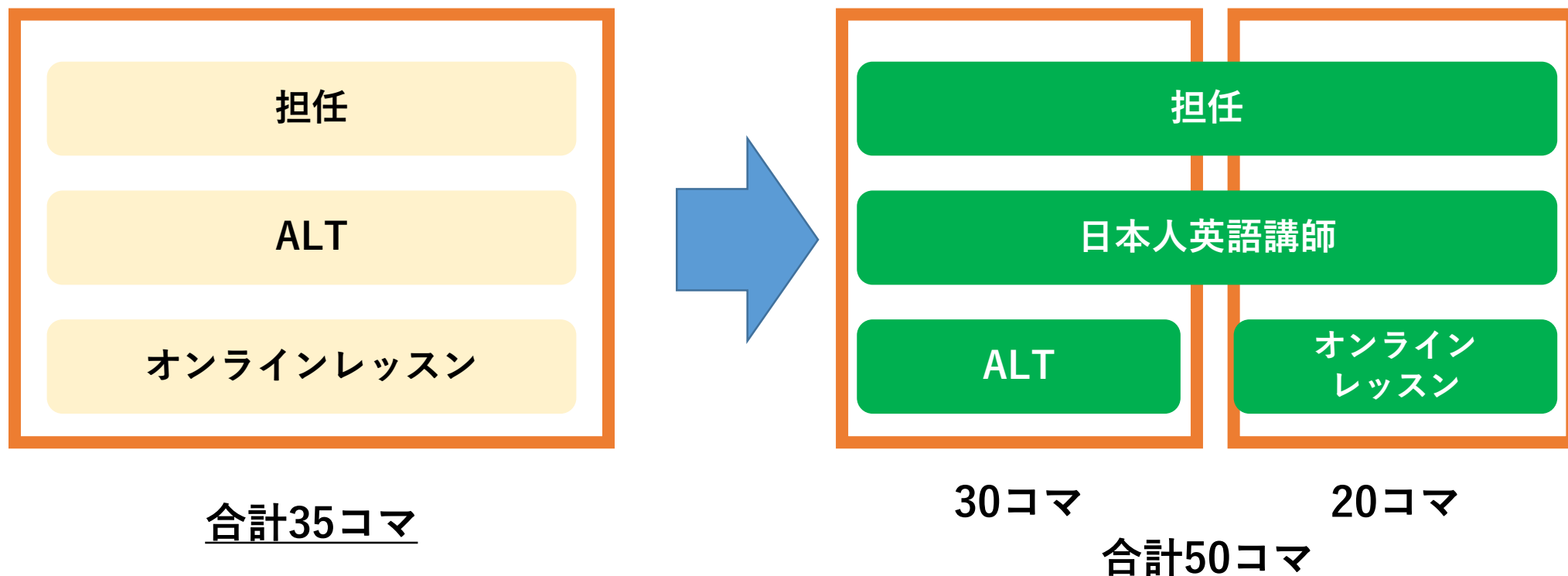
- 2019年6月～2020年3月。
- 受講回数：小5、小6共に年間20回。

授業構成、実施内容の拡大について

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
対象学年	6年生	5, 6年生	5, 6年生	5, 6年生	5, 6年生
場所	パソコン室 各教室	T T ルーム	T T ルーム	パソコン室	パソコン室
実施時期	9月より	9月より	9月より	6月より	6月より
使用ソフト	Skype	Skype	Skype	独自ソフト	独自ソフト
パソコンの種類	デスクトップ タブレット	タブレット	タブレット	デスクトップ	デスクトップ
有線 無線	有線 無線 L A N 3 ケ 所	無線 L A N 3 ケ 所	無線 L A N 3 ケ 所	有線	有線
コマ数	20コマ	5年8コマ 6年20コマ	5, 6年 20コマ	5, 6年 20コマ	5, 6年 20コマ

主な変更【授業構成について】

次期学習指導要領で小学校5・6年生向けの外国語授業が35コマから70コマへの拡大をふまえ、
2018年度より両学年における授業数を各計50コマへ拡大



2018年度より**日本人の英語講師**の採用により、授業を分割するも両授業の連動をスムーズに
授業数拡大により、開始時期を9月から6月へ前倒しに

主な変更【授業構成について】

英語4技能を2つの授業でバランスよく習得が可能に



担任＋日本人英語講師＋ALT

インプット＋アクティビティ



担任＋日本人英語講師＋オンライン講師

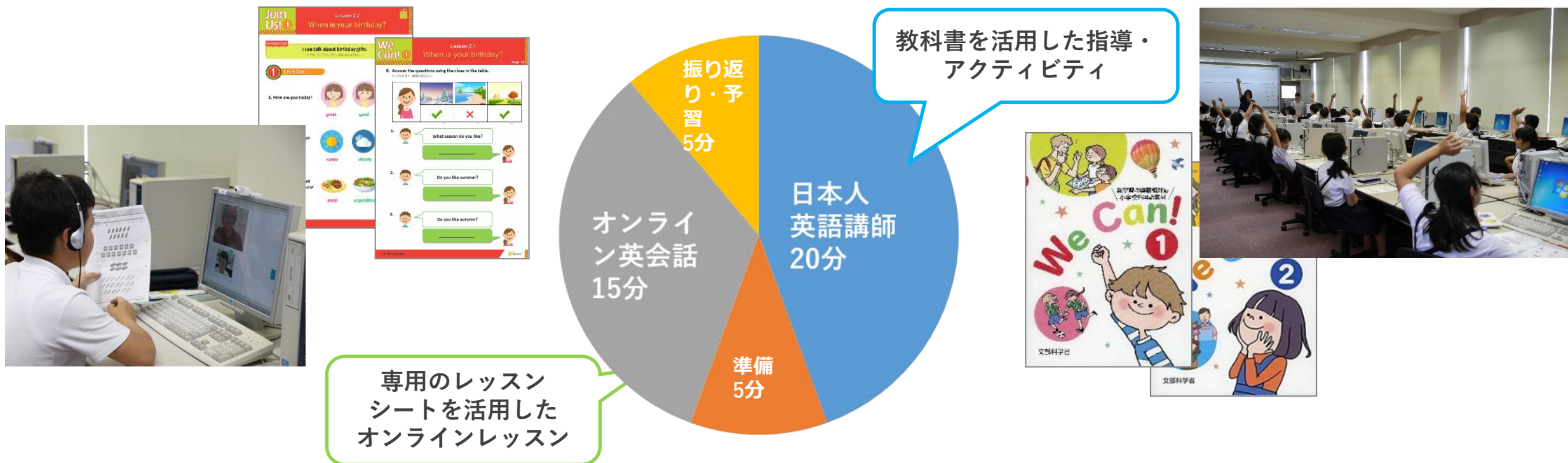
インプット＋アウトプット＋
アクティビティ

各授業の内容は、学習指導要領をもとに連動

オンライン英会話授業構成について

前半：日本人英語講師（インプット＋アクティビティ）

後半：オンライン英会話（オンライン英会話＝アウトプット）



学習指導要領に対応したオンラインレッスンを開発

英語の学習成果について

①外国人に対しての壁を低くする



児童の最初の反応について

<当初>

- 取り組みの良さは理解していましたが、やはり不安が先にたちました。
- いきなりマンツーマンは難しいでしょ？
- まったく話せずに固まってしまうのでは？
- 泣き出す子も出てくるのでは？
- 最初はグループから始めて徐々に慣れさせた方がよいのでは？

<始めて見ると>

児童はすぐに慣れ親しんで、こちらの心配は無用でした。

英語の学習成果【外国人に対しての壁】

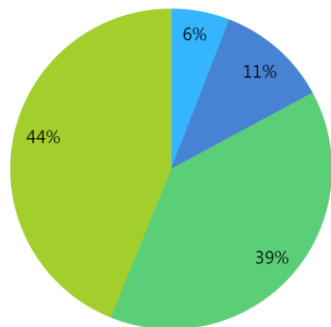
1人で話すことができるようになった児童が3.6倍、
緊張しなくなった児童が約2分の1に低減

「できる」「だいたいできる」の割合が
17% → 62% と改善

「とても緊張する」「少し緊張する」の割合が
84% → 35% まで低減

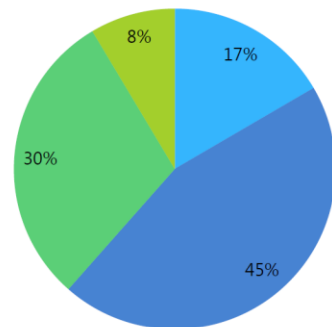
<Before>

- 1. できる
- 2. だいたいできる
- 3. あまりできない
- 4. ほとんどできない



<After>

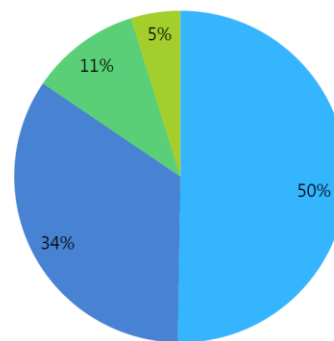
- 1. できる
- 2. だいたいできる
- 3. あまりできない
- 4. ほとんどできない



英語を使って外国の人と1人で話すことができますか？

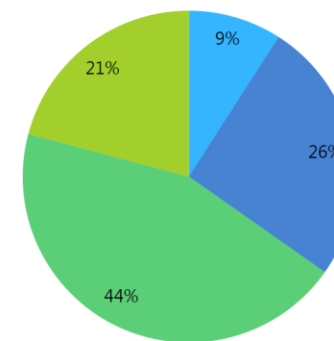
<Before>

- 1. とても緊張する
- 2. 少し緊張する
- 3. あまり緊張しない
- 4. 全く緊張しない



<After>

- 1. まだとても緊張する
- 2. まだ少し緊張する
- 3. あまり緊張しなくなった
- 4. 全く緊張しなくなった



外国の人と英語で話すときに緊張しますか？

授業の児童の反応／先生の声



・教科書を超えたコミュニケーションができた

「What do you like～？」という例文を使う授業だったときに、「I like baseball.」と決まったやり取りはもちろん、その後詳しく自分の取り組んでいるスポーツについて講師に紹介したり盛り上がったみたいです。**先生が言っていることを理解して、自分の伝えたい事が伝わったのがとても嬉しかった**みたいで、授業が終わった時に伝えに来てくれました。

・「オンラインの授業、いつなの？」

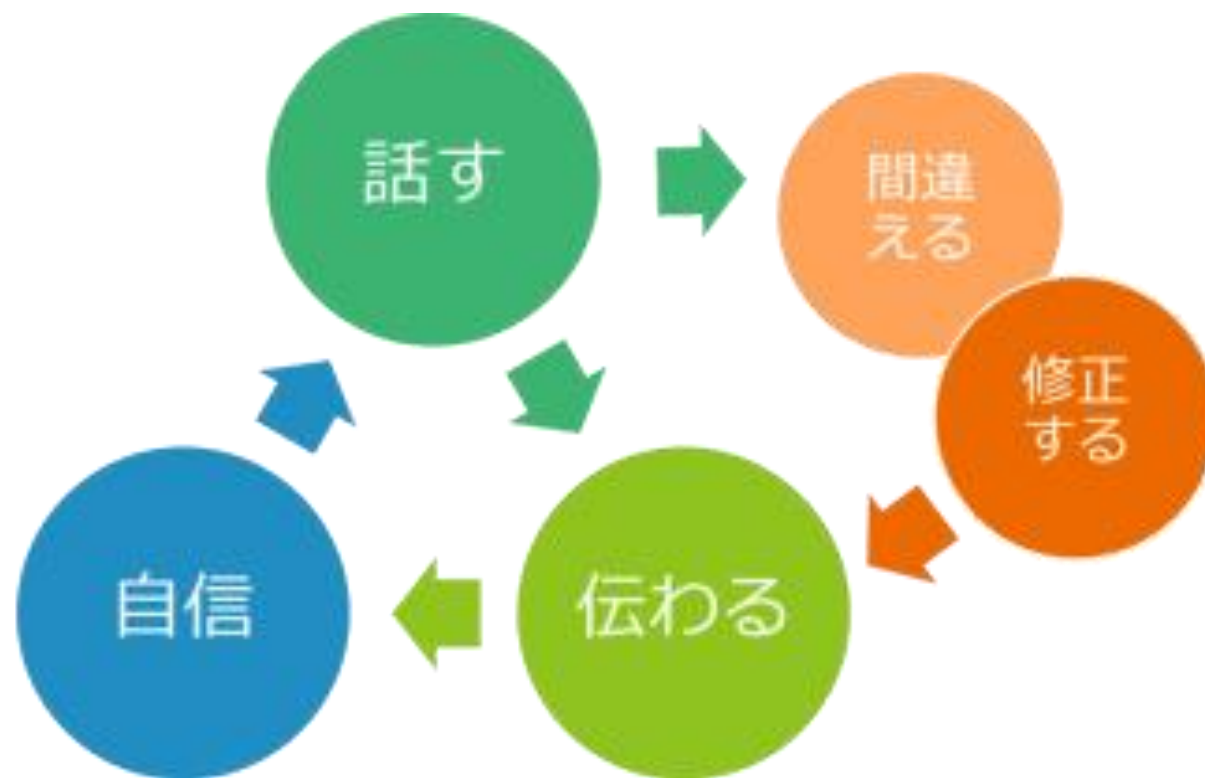
みんな**最初は緊張していて不安な子が多いのですが、それは初回ぐらい**です。その後はみんな楽しんでいて、毎年「いつからオンラインの授業始まるの？」「次はいつやるの？」という声がよく聞かれます。



・修学旅行では外国人に話しかける児童が続出

昨年の小学6年生に修学旅行のときに「外国人の方を見かけたら、話しかけて写真撮ってきてみて」とミッションを与えてみました。シャイな子も多かったのが難しいかなと思っていたのですが、帰ってきたらほとんどの子が何十枚と写真を沢山見せてくれました。**外国人を見かけるたびに声をかけるぐらいみんな積極的にコミュニケーションを取っていた**ようでした。

試行錯誤を通して「英語が通じた」という
「成功体験」の積み重ねこそが自信の源泉に



英語の学習成果について

②一人当たりの発話量の確保

英語学習成果について【1人当たりの発話量】

1人当たりの発話量の確保を**10倍**にすることが可能に



外国人講師1名：生徒30名の授業

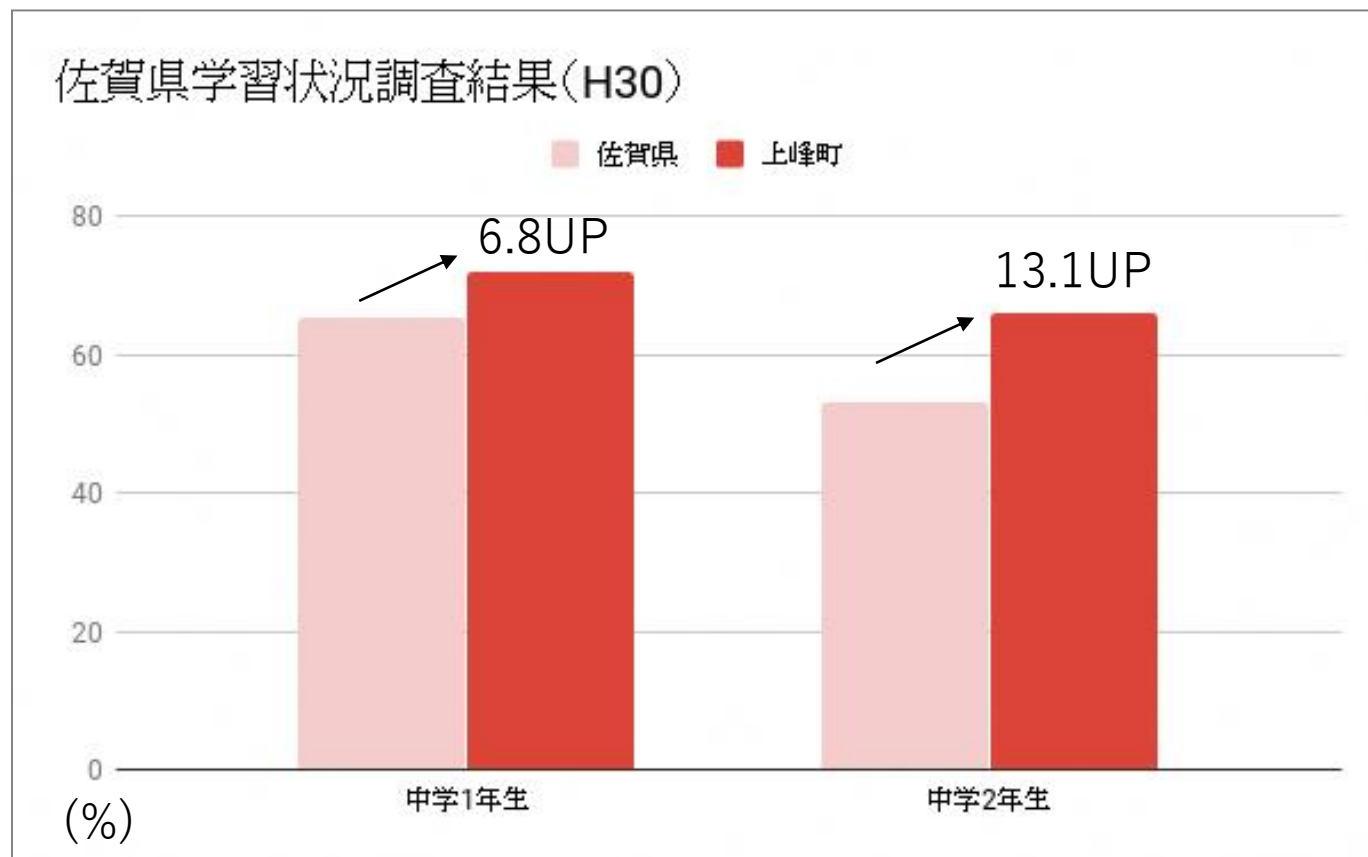
→45分÷30名 = **1人あたり約1分半**の
発話量

オンライン英会話導入による15分の
マンツーマンレッスンの導入

→ **1人あたり15分以上**の発話量

英語学習成果について【学力向上】

オンライン英会話を受けた児童が中学校に進学後、
上峰町は中学英語において佐賀県平均を上回った成績を収める



英語の試験の正答率

英語学習成果について／エンビジョンの考察①

- ・ 英語に対する苦手意識の克服
- ・ 英語学習へのモチベーション向上に寄与
- ・ 外国の方との会話に慣れ、海外への慣れ親しみを持つことができた



- ・ **中学英語へも** 苦手意識を持たずにスタートをできるため、移行がスムーズになり、いわゆる「**中1ギャップ**」の**解消に**
- ・ 「話す」以外にも、「読む・書く・聞く」も含めた、**英語4技能の向上に総合的に寄与**している

平成28年度上峰小学校卒業生（現上峰中学校三年生）の声

英語が大好きで、中学2年生のときは韓国の中学校とのキャンプにも参加しました。語学にすごく興味があって、将来は韓国で日本語教師をやりたい。今の時代、どこの国でも英語を話せた方がいい。もっと英語を頑張りたいと思っています。

英語は一番好きな教科です。興味がある英単語などはテレビなど見ながらどんどん自分で調べている。友達が知らない新しい単語や文法を覚えて使って、英作文を作っていくことがとても楽しい。



中学に入って、特別英語が得意！と自覚している訳でもないけれど、最近試験の成績もいい。将来は海外に色々な国へ旅行をしてみたい。もっと英語を勉強して、通訳がいないぐらいになりたい。

児童の海外への興味や意識の変化



上峰中学校では日韓交流を実施
積極的なコミュニケーションを実践



上峰町の子ども議会では中学生から、
イギリスやアメリカと新たに交流したいとの提案も

町としての変化について

ICT教育先進地としての周辺地域、保護者などからの認知を獲得

児童の保護者からの意見、反応

- ・オンライン英会話の授業は新しい取り組みだが、理解いただき楽しみにしてもらっている。
- ・事前に説明会などを実施し、具体的な内容などについて理解を深めていただく場を設けている。

地域住民、その他周辺地域からの認知

- ・住民の転出入が一定程度ある町ですが、小学生を持つ保護者の方からは、
ICTを活用したオンライン英会話を実施しているまちという事をご存知の方もいらっしゃいます。
- ・ほか**全国自治体などからの問い合わせや見学**の声も多くあり。
町外、県外にまたがり認知を得ている。

小・中が1校ずつということも幸いし、
学校、教育委員会、町が密に連携してICT教育を実践することが可能に

今後の上峰町の展望について

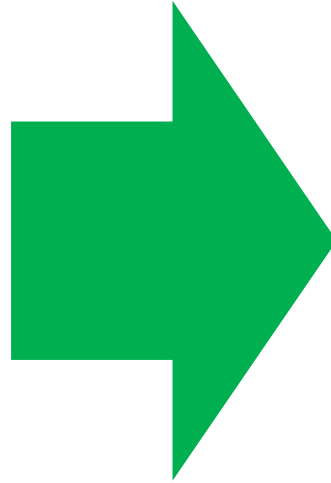
今後の上峰町の教育推進における展望について

児童・生徒が自主的に学習を進めていける環境づくりの拡充へ



学校教育

自分で学習を進めるうえでのきっかけづくり
好きになってもらう場



個人学習

好きになった科目を、
自分でさらに伸ばすことのできる環境の
サポートをしていく

今後の上峰町の教育推進における展望について

地域未来塾の開設や、学校外教育の支援を実施

「地域未来塾」を開設

地域から募った学習支援員により、生徒たちの自主学習を無料で支援し、学習習慣の確立を図ります。

放課後補充学習の拡充

オンラインの補充授業に加え学習塾、家庭教師など個別学習を支援し、生徒の基礎学力の定着、苦手分野の克服、個性や才能を伸ばす機会を提供します。

学校の教育環境拡大に加え、
個別学習のサポートの充実も図っていく